

議会だより

<http://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



9月議会報告

(令和2年補正予算・令和元年度決算) ……	2～7
議決一覧・意見書 ……	8～9
決算審査報告書 ……	10～13
火葬場方針は「改修」 ……	14～15
風力発電をめぐる協議 ……	16～17
一般質問 ……	18～27
町民の声ほか ……	28

10月11日 福田しらさぎ大運動会

令和2年 **11**月1日 発行

新生活対応で補正予算

一般会計予算は117億1204万1千円に

コロナ対策交付金等で 6億4300万円を 増額

令和2年第5回議会定例会は、
9月3日から16日までの14日間の
会期で開催されました。

令和元年度各会計の決算議案が
審議されたほか、「ウィズコロナ」
対策や、災害復旧と防災対策、そ
して、町から方針が示された火葬
場改修のための補正予算等が提出
され、議案は全て承認・可決とな
りました。

※決算の概要は4～9ページ、補正予算質疑は
5ページ、火葬場改修は14～15ページをご覧ください。

9月議会で決まった事業

オンライン診療環境整備

町内医療機関等でオンライン診療を受けられる
ようにするための経費



済生会川俣病院診療から開始予定

497万円

免許返納者にデマンドタクシー券

運転免許自主返納した高齢者に、26000円分
のデマンドタクシー券を交付



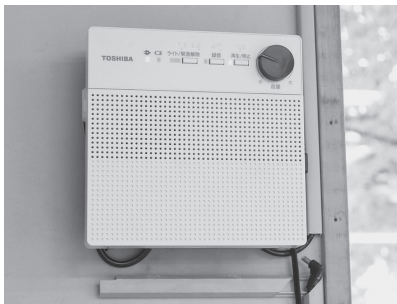
50回分利用できるデマンドタクシー券

130万円



戸別受信機設置

防災行政無線・戸別受信機を400台追加設置するための経費



難聴エリア世帯に設置される戸別受信機

3000万円

火葬場整備のための費用

火葬場整備方針に係る住民説明会、環境評価等のための経費



大規模改修に向け動き出した火葬場

680万円

新生児に特別定額給付金

本年4月28日以降に生まれた新生児に対する特別定額給付金



新生児にも10万円の給付金

400万円

オンライン避難届開発

避難届等をオンラインでできるようにするための経費



避難届のようす（10月17日防災訓練）

239万円



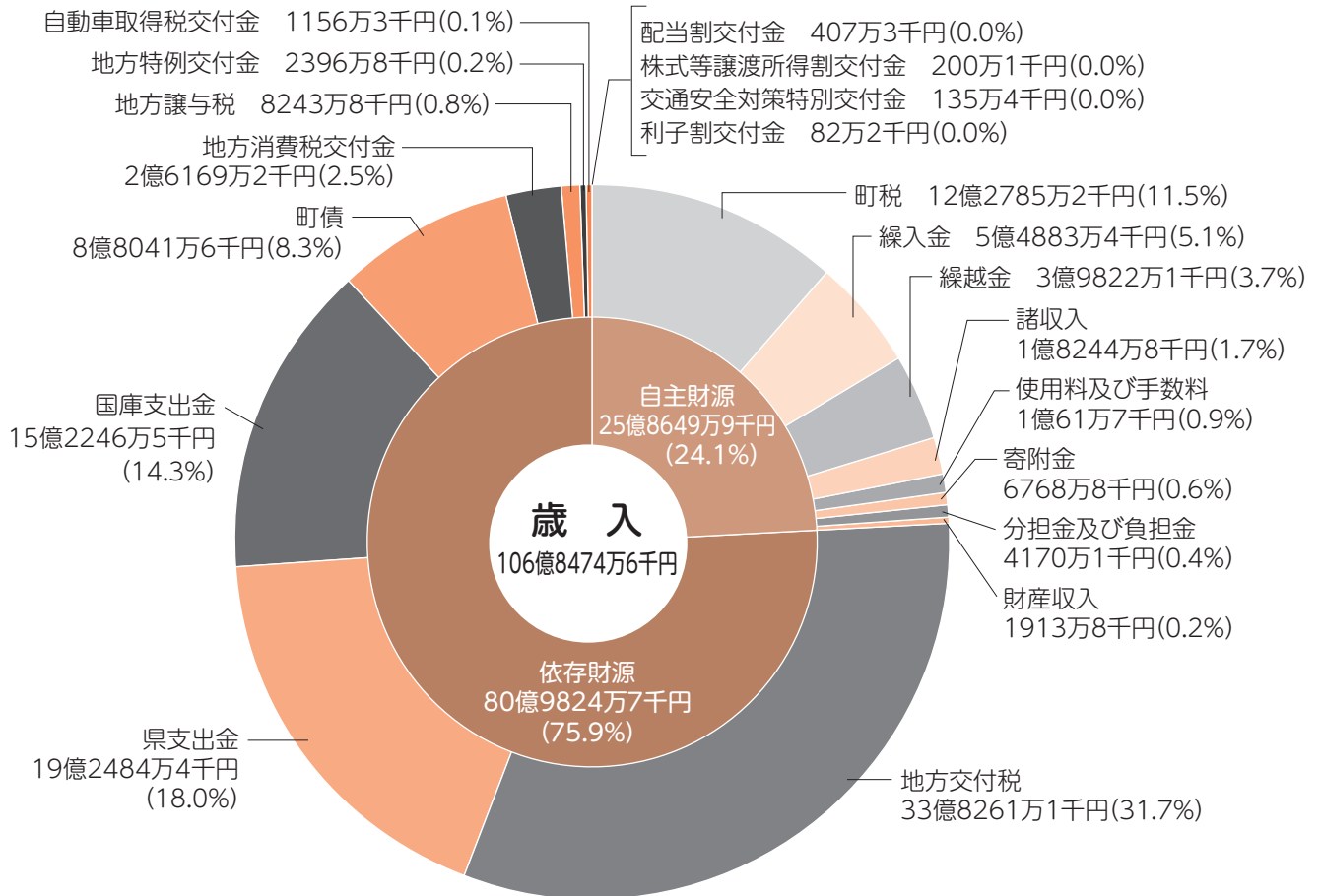
決算を認定

歳入

106億8474万6千円

歳出

98億1593万6千円



- 議案第62号
一般会計決算

反対 将来の課題が多く、
広く町民の思いに
届いていない。

(石河ルイ議員)
- 議案第63号
国民健康保険特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第64号
介護保険特別会計決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第65号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第66号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第67号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第68号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第69号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第70号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第71号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第72号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第73号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第74号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第75号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第76号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第77号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第78号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第79号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第80号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第81号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第82号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第83号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第84号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第85号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第86号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第87号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第88号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第89号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第90号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第91号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第92号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第93号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第94号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第95号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第96号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第97号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第98号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第99号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)
- 議案第100号
低所得者等に対する
生活支援特別会計
決算

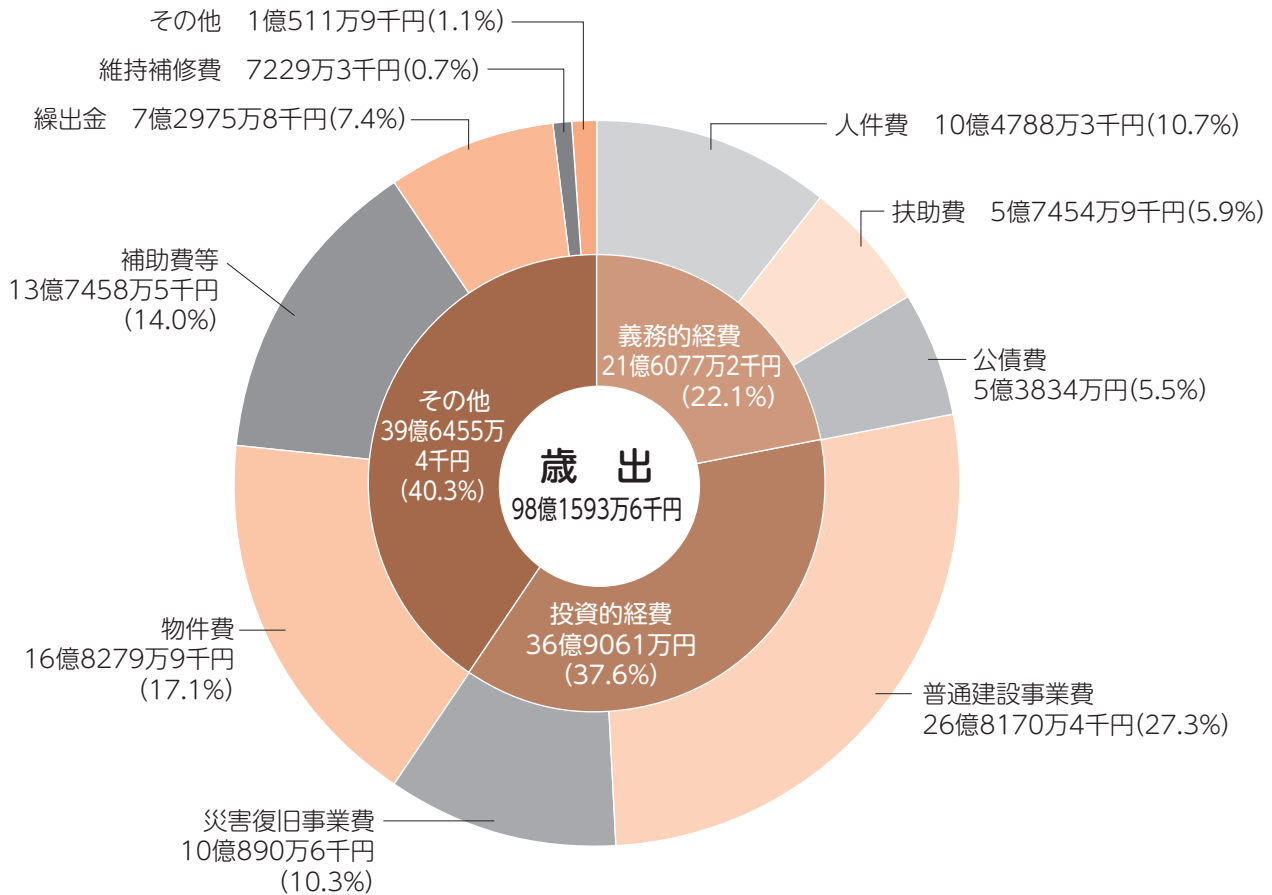
賛成 委員長報告のとおり
原案に賛成する。

(新関善三議員)

令和元年度決算討論

決算審査は集中的に審議する目的で、予算
決算常任委員会に付託して行い、その報告を
もとに改めて議会で審議、採決を行います。
また、昨年11月から予算と決算を一体的に
審議できるよう、予算と決算それぞれに分か
れていた常任委員会をひとつにし、議長・議
選監査委員を含む全議員を委員とする「予算
決算常任委員会」に改めました。
委員会、本会議とも採決となり、その結果、
決算議案13件とも、「認定」となりました。

令和元年度各会計



補正予算

●議案第75号

一般会計補正予算

質問

①行政区長、連絡員報酬はどれくらい増額するのか。

②防災無線戸別受信機の整備が遅れている理由は、③運転免許返納者へのデマンドタクシー券は、バスへの補助は考えなかったのか。(高橋清美議員)

答

①災害広報等配布物が増えたら5か月分を増額します。
②製品にリコールが発生したためです。
③デマンドタクシーで対応し、是正をしながら検討していきます。(総務課長)

質問

風力発電説明会に充てる補助金は、再エネ推進と理解普及を目指すものではないのか。(菅野清一議員)

答

賛成でも反対でもない立場で、再エネを理解するための勉強会に活用します。(企画財政課長)

質問

財政調整基金の残高は、コロナ対策のために使つべきではないのか。(佐藤喜三郎議員)

答

約14億円です。特定財源等を優先して活用しています。(企画財政課長)

質問

ため池を廃止する予算の説明を。(石河ルイ議員)

答

中山工業団地の上で、増水で決壊が心配されるためです。(産業課長)

質問

タクシー券補助は、一般のタクシーでも使えるようにしないのか。(山家恵子議員)

答

町でデマンドタクシーを整備してきた背景もありますのでご理解願います。(総務課長)

人事案件

●議案第81号

固定資産評価審査委員会委員の選任

次の方の任命について同意しました。なお、任期は、令和2年10月1日から3年間でです。

●高橋 充男

(飯坂字町裏)
●櫻井恵美子 (字中丁)

●議案第82号

小綱木財産区管理委員会員の選任

次の方の選任について同意しました。なお、任期は、前任者の残任期間である令和5年9月30日までです。

●五十嵐文男

(小綱木字一ノ関)

●諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

次の方を推薦することに同意しました。なお、任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間でです。

●菅野浩市郎

(羽田字残茂内)

特別会計等の決算額

名 称	歳 入	歳 出	収 支
国民健康保険特別会計(事業勘定)	17億147万2千円	16億3486万6千円	6660万6千円
国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	1422万9千円	1422万9千円	0円
介護保険特別会計	21億4204万1千円	20億4892万7千円	9311万4千円
後期高齢者医療特別会計	1億8488万4千円	1億8358万3千円	130万1千円
簡易水道事業特別会計	1018万7千円	834万3千円	184万4千円
川俣町奨学資金特別会計	2272万3千円	2272万3千円	0円
工業団地造成事業特別会計	3731万6千円	3731万6千円	0円
小島財産区特別会計	1349万4千円	313万2千円	1036万2千円
飯坂財産区特別会計	1174万3千円	18万4千円	1155万9千円
大綱木財産区特別会計	90万円	8万4千円	81万6千円
小綱木財産区特別会計	337万2千円	9万6千円	327万6千円
山木屋財産区特別会計	51万7千円	9万3千円	42万4千円
	事業収益	事業費用	収 支
水道事業会計	2億6687万9千円	2億4090万2千円	2597万7千円

議案採択結果一覧

議 案	山家恵子	石河ルイ	菅野信一	作田善輝	蓮沼洋志	高橋清美	高橋真一郎	菅野清一	新関善三	佐藤喜三郎	村上源吉
議案第57号 川俣町火葬場建設基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第62号 令和元年度川俣町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号 令和元年度川俣町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号 令和元年度川俣町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対

9月議会 定例会

主な議案と質疑応答

●議案第57号

火葬場建設基金条例の一部改正

【概要】基金の名称を「建設」から「整備」に改めるもの。

質問

①改修案で定めるのは時期尚早ではないか。
②検討委員会の答申では「バグフィルター」になつていたが、違うのではないか。
③5億円以内の建替え案はないのか。

(佐藤喜二郎議員)

答

①「改修」と方針を定め、提案します。
②機材が大きく、現状の建物に入らないため、同じく基準を満たせるスクリーン式にします。

(町民税務課長)

③様々な制約があり、知見の中では最良かつ具体的な案だということをご理解ください。

(町長)

質問

条例を決めた会議はいつ開いたのか。名称を変える手続きは妥当か。

(高橋清美議員)

答

7月16日、7月28日、8月3日に会議を開いています。名称を実態に整える、ということをご理解ください。

(町長)

質問

議論の余地があり、時機尚早なのではないか。

(菅野清一議員)

答

一般質問、委員会、全員協議会などで幾度も情報交換は行っており、実現できる時期、手法として提案するものです。

(町長)

【討論】

反対

まだ、名称を改正する時期ではない。

(佐藤喜二郎議員)

※結果は6ページの採決表をご覧ください。

令和2年 第4回・第6回臨時会を開催

— 動産の取得、補正予算を議決 —

緊急的な事案について、臨時会が招集されました。議案はすべて全会一致で可決されました。

第4回

7月22日開催

【決定した主な事業】

- ・山木屋地区米づくり復興のための農業用機械購入（トラクター、コンバインほか）

【決定した主な事業】

- ・GIGAスクール・教師用タブレット端末等購入
- ・インフルエンザ予防接種に一人当たり1,000円を助成 ほか

第6回

10月7日開催

9月議会定例会審議結果 (令和2年9月3日～16日)

議案	件名	審議結果
第53号	川俣町選挙の公営に関する条例	可決(全会一致)
第54号	附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第55号	川俣町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第56号	川俣町手数料条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
※第57号は採決結果表をご覧ください。		
第58号	川俣町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第59号	川俣町生活拠点形成交付金基金条例を廃止する条例	可決(全会一致)
第60号	川俣町帰還環境整備交付金基金条例を廃止する条例	可決(全会一致)
第61号	町道路線の認定及び変更について	可決(全会一致)
※第62～64号は採決結果表をご覧ください。		
第65号	令和元年度川俣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第66号	令和元年度川俣町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第67号	令和元年度川俣町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第68号	令和元年度川俣町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第69号	令和元年度川俣町小島財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第70号	令和元年度川俣町飯坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第71号	令和元年度川俣町大綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第72号	令和元年度川俣町小綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第73号	令和元年度川俣町山木屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	承認(全会一致)
第74号	令和元年度川俣町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	承認(全会一致)
第75号	令和2年度川俣町一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第76号	令和2年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第77号	令和2年度川俣町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第78号	令和2年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第79号	令和2年度川俣町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第80号	令和2年度川俣町水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第81号	川俣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
第82号	川俣町小綱木財産区管理会委員の選任について	同意(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意(全会一致)

● 9月定例会陳情審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	陳情者住所及び氏名	審査結果
4	厚生文教 常任委員会	保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に関わる陳情書	福島県福島市渡利字大豆塚7 福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄	趣旨 採択

議員提案

9月議会定例会における議員提案は1件で、関係機関に送付しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応を初め、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保し充実を図ること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補てん措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5 特に固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月16日

衆議院議長 大島 理森 様
参議院議長 山東 昭子 様
内閣総理大臣 菅 義偉 様
総務大臣 武田 良太 様
財務大臣 麻生 太郎 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
経済産業大臣 梶山 弘志 様

福島県伊達郡川俣町議会

令和元年度各会計・行政運営の課題を点検

— 数々の問題が指摘される —

CHECK

総務課

委員会意見

① 防災行政無線が完成し運用が開始されたが、可聴範囲や運用において様々な課題が生じている。全戸に対する戸別受信機の設置や、代替手段など、その目的が達成されるよう継続的に改善すること。

② 町政懇談会については、昨年度決算委員会で見直しの検討を図るよう意見したが、対応されなかった。地域の課題を適切に捉え協働のまちづくりに活かしていけるよう、再度、見直しを求める。

③ 自治会については、引き続き全町で結成されるよう努めること。

④ 職員研修については、自治研修センターを活用するだけでなく、職場内での研修や職員の自主的な学びの機会などを含め、体系的に整備し実施すること。専門的、技術的な資質向上のための研修についても予算化を図ること。

⑤ 議場の傍聴席の増設については、議会で繰り返し対応を求めているが実施されていない。速やかに実施すること。

企画財政課

委員会意見

① 各集会所の利用状況等の把握と、専門知識を有する部署との連携強化を求める委員会意見については、一部、対応された。しかし各施設の運営や費用負担にばらつきがあるため、現状をよく調査のうえ改善を求める。

② 復興会議運営費については、年2回の会議が開催されたが、成果が見えない。町民は復興するための方針と将来の展望を求めている。期待にこたえられるような会議運営を求める。

③ アルゼンチン国や境町との交流に関する事業については目指す町の姿

が見えない。事業目的を明確にし、抜本的に見直すよう求める。

④ 公共交通に関する委員会意見については、デマンド型乗合タクシー運行で拡充と改善が図られているが、町の最重要課題である現状を踏まえ、さらなる拡充と改善を求める。

⑤ 情報通信網の整備は、これからのまちづくりの基盤であると考え、積極的な整備促進を求める。

⑥ 前田遺跡の発掘は、町の大きな財産であると考え、総合調整の立場から活用方法の企画提案を求める。

⑦ 遊休の町有財産等を活かし、子育て世代に宅地等を安価に提供できるような施策の企画・立案を行うこと。



予算決算常任委員会報告

産業課

委員会意見

- ① 有害鳥獣対策事業については、様々な対策が取られつつあるが、いまだ町民生活上の大きな課題となっている。効果検証と知見の活用等により、引き続き被害抑制、防止に努めること。
- ② 森林環境の保全と活用は、主に国県施策により実施されているが、後継者、担い手育成などの課題に対しては、町としても積極的な施策の検討を図ること。
- ③ 道の駅川俣がリニューアルされ、その活用に大きな期待が集まっている。川俣シャモの販売促進、観光振興のため、ふ

- るさと大使の知見の活用や、女性が好むメニュー、レシビの開発など、さらなる施策の検討に努めること。また、トイレや花壇、施設の更新など、周辺環境の整備に努めること。
- ④ 織物展示館及びびからりこ館は、絹・織物文化伝承の拠点であるので、技術の継承と後継者の育成に努めること。
 - ⑤ 首都圏を中心に、若者の地方への関心が高まっている。既存の施設を活用するなど、移住、定住施策の速やかな検討と実施を求める。

原子力災害対策課

委員会意見

- ① 原子力災害の発生から9年が経過し、復興創生期間も終盤を迎えたが、いまだ復旧・復興は道半ばである。その認識に立ち、よく町民の意見を聞いて、施策の点検と町としての復興の展望を示すこと。
- ② 仮置き場から早期に放射性廃棄物を搬出し、復旧できるような努めること。また、搬出済みの仮置き場については、早急に原状回復を図ること。

町民税務課

委員会意見

- ① 平成31年4月に「川俣町新火葬場建設基本構想」が議会に示されたが、火葬場建設検討委員会の答申からは、かけ離れた内容であり、また、年度中は何の取り組みも見られなかった。今後、事業の進展にあたっては、議会と町民意見の集約に努め、よく協議し実施すること。また、周辺環境の美化に努めること。
- ② 太陽光発電や合併浄化槽の普及率、プラスチックごみの分別、不法投棄などの課題に対して、着実に対応すること。

保健福祉課

委員会意見

- ① 民生委員が長い間欠員になっている地区がある。早急に補充すること。
- ② 高齢化や自然災害等により、町民の福祉行政施策への関心は高まっている。一人暮らし高齢者に対する支援のあり方、災害見舞金の拡充、がん患者に対する支援のあり方などについて検討すること。

令和元年度各会計・行政運営の課題を点検

— 数々の問題が指摘される —

CHECK

生涯学習課

委員会意見

- ① 前田遺跡から多数の文化財が発掘されている。国、県等の関係機関と連携し、保存と展示に努めること。また貴重なまちづくりの財産として、企画財政課等と連携のうえ活用について検討を図ること。
- ② 地区公民館の安全管理とバリアフリー化に努めること。特に、危険箇所や高齢者の利用に不便な箇所について点検し、早急に対応すること。
- ③ 町の文化、歴史と伝統技法等が失われることのないよう、継承と人材育成に努めること。

建設水道課

委員会意見

道路橋梁、水道等の計画的な更新、改良に努め、公共インフラの維持・進展を図ること。

子育て支援課

委員会意見

わいわいクラブの委託先は、繰り返し見直し等について議会及び本委員会で見えている現状を踏まえ、早急に抜本的な見直しを進めること。

学校教育課

委員会意見

学校統廃合後の施設については、総合的な視点から利活用の検討を図ること。

議会事務局

委員会意見

議場の傍聴席の増設について、早急に実現を図ること。

会 計 室

委員会意見

役場共通で使用する封筒は、町のイメージにつながるの、素材、デザイン等、よく検討し、改善を図ること。



予算決算常任委員会報告

ま と め



令和元年度の各会計の決算においては、復興・創生期間（平成28年度～令和2年度）の終盤を迎え、3カ年の継続事業として行われてきた粗飼料生産流通拠点施設整備事業、町防災行政無線整備事業が完了したほか、道の駅かわまた改修事業が本格実施されるなど、一定の成果が見られた。また、令和元年東日本台風などの不測の事態に対し多額の予算支出を要する受難の年となった。

決算規模は依然として100億円規模であるものの、財政の弾力性を示す経常収支比率は91・5％となり、予算の使途が限定される厳しい状況が続いている。

また、今後さらに、小学校統廃合、中央公民館の耐震工事、火葬場整備などの大規模インフラ整備事業も控えており、さらに財政は硬直化が進むことが予測される。標準財政規模が41億円程度である町の財政は、人

査となり、これまでに委員会から出された要望、意見には、一部、対応がみられたが、いまだ叶えられない事項も多く、継続的な対応と、反省及び改善を求める。

また、財政調整基金の積立額について様々な意見が交わされたが、災害等不測の事態に備えつつも、現役世代の税収を適切に現役世代に還元することも大切であるので、望ましい積立額がいくらであるのか、適時に判断されたい。

新型コロナウイルスへの対策は、長期になることが予測される。災害発生時への備え、安全安心の確保に努めるとともに、コロナ禍であっても、町政の振興、各種事業が停滞することのないよう強く要望する。

以上の点について強く意見し、令和元年度各会計の決算は認定するべきであると決定した。

令和2年9月14日

予算決算常任委員会

委員長 佐藤喜三郎

予算、決算を包括し、一体的に継続審議することとを目的に組織された「予算決算常任委員会」における初めての決算審

全員協議会 レポート

第18回
(8月7日)



8月7日の全員協議会で、長らく懸案事項となっていた町火葬場の方針が示されました。

平成31年3月に町がまとめた「川俣町新火葬場建設基本構想」では、「建替案」として敷地拡張の有無・炉数に応じて3案、「改修案」として炉数等に応じて2案と、近隣の市町が設置する火葬場を借りる「広域連携」案の計6つの案が示されていました。(炉数は1基または2基)

この6つの案の中から、「炉数2基で、大規模に改修して対応する」案を採用すると報告があり、議員からは次のような意見等がありました。

火葬場は、炉数2基・大規模改修

町が方針を説明、概算事業費は約3億6千万円

主な質疑応答

- 改修する間は休止となるが、その間、火葬場を使わせてほしいと他市町には協議しているのか。

→現在も福島市、伊達市、二本松市、桑折町等の協議会と相互援助協定を結んでおり、休止期間も使わせてもらえるよう協議します。

- 福島市では火葬場使用の際、市民の自己負担金が生じているが、町ではどうするのか。

→今後、検討します。

- 待合室などの改修はしないのか。

→洋式化するなど施設を改修します。

火葬場に関する経過

平成22年度	火葬場建設基金の積み立てを開始。平成25年度までで2億円を積立。 (26年度以降は積立なし)
平成27年度～平成28年度	新火葬場のあり方について町民意見を聞くための会議「新火葬場建設検討委員会」が設置され、会議5回、視察研修1回が開催される。
平成29年度	検討委員会から「建設場所は現火葬場隣接地、火葬炉数は2基」などの内容で答申が示される。
平成31年度	新火葬場建設基本構想を町で策定。検討委員会答申に基づく諸条件等に基づき想定費用を試算した計6案が示される。
令和2年度	8月7日の全員協議会において、基本構想で示した案のうち「大規模改修案」を選択する方針が説明される。

「炉数2基・大規模改修案」の選択理由（町の説明）

●必要火葬炉は2基を維持	今後20年間、利用数は年間270件程度で推移すると想定。メンテナンス等を考慮し現状の炉数2基の維持が必要と判断。
●現在の場所を選択	町内の候補地はほかに2箇所があったが、いずれもインフラ整備費用、地権者数等の諸条件から見て困難と判断。
●改修の場合の費用は約3億6000万円、年間維持費は約1800万円程度と想定	建替案の場合は、建設費は約6億8000万円から10億5000万円程度かかり、さらに年間維持費は約2500万円～2700万円程度と見込んでおり、小学校再編、中央公民館耐震化、認定こども園開設事業等と、財政事情を考慮し、改修案（約3億6000万円程度）を選択する。
●集塵装置は「簡易式（スクリーンフィルター）」を採用	- 高性能な集塵装置「バグフィルター」の場合、2基設置するには、装置の規模から現在の立地、建物では不可能。（1基でも建替えが必要で、費用は約6億8000万円かかる） - 簡易式「スクリーンフィルター」でも環境基準を満たすことから、改修案を妥当と判断。
●広域連携（他市町の火葬炉を使う案）の場合も費用増大	広域連携による案でも年間費用は約3400万円から約8700万円程度と試算。

全員協議会 レポート

第19回

(8月28日)
ほか

風力発電事業をめぐる協議

飯坂地区住民からは「騒音」の苦情

「見えない」はすが「見える」問題に端を発した、いいだてまでいな風力発電所から「風車の音が聞こえる」と、飯坂地区住民から町に相談があったこと、また町と村、事業者の三者で取り交わす協定書の内容について、説明を受け協議しました。議員からは「騒音を測定する装置などを準備するべきではないか」などの意見が出されました。

また、川俣町及びその周辺で相次いで風力発電事業が計画されており、これまでに説明のあった計画についてお知らせします。

苦情の概要

- 風車の音が聞こえる。(聞こえないときもある)
- 夜は眠れないくらい気になる。
- 洗濯機が回る音、飛行機が来るときのような音。(振動はない)

川俣町と飯館村、事業者による風力発電施設協定書の概要

第1条 目 的	周辺住民の健康を保護し、安全・安心な生活環境を保全することを目的とする。
第3条 協定の有効期限	風力発電施設が存在する限り有効。
第5条 事業者の責務	事業者は生活環境を保全し、不安を与えないよう細心の注意を払わなければならない。
第6条 村の責務	飯館村は事業者が責務を履行するよう指揮監督する。
第7条 指導及び勧告	川俣町は、環境への影響が発生し、または発生するおそれがあると客観的に認められるときは、その影響を防止するために必要な措置を講ずるよう、飯館村と事業者に申し入れることができる。
第9条 損害賠償	事業者は、生活環境に影響が生じたと認められるときは誠意をもって速やかに調査を行い、賠償及びほの他適切な措置を講じるものとする。

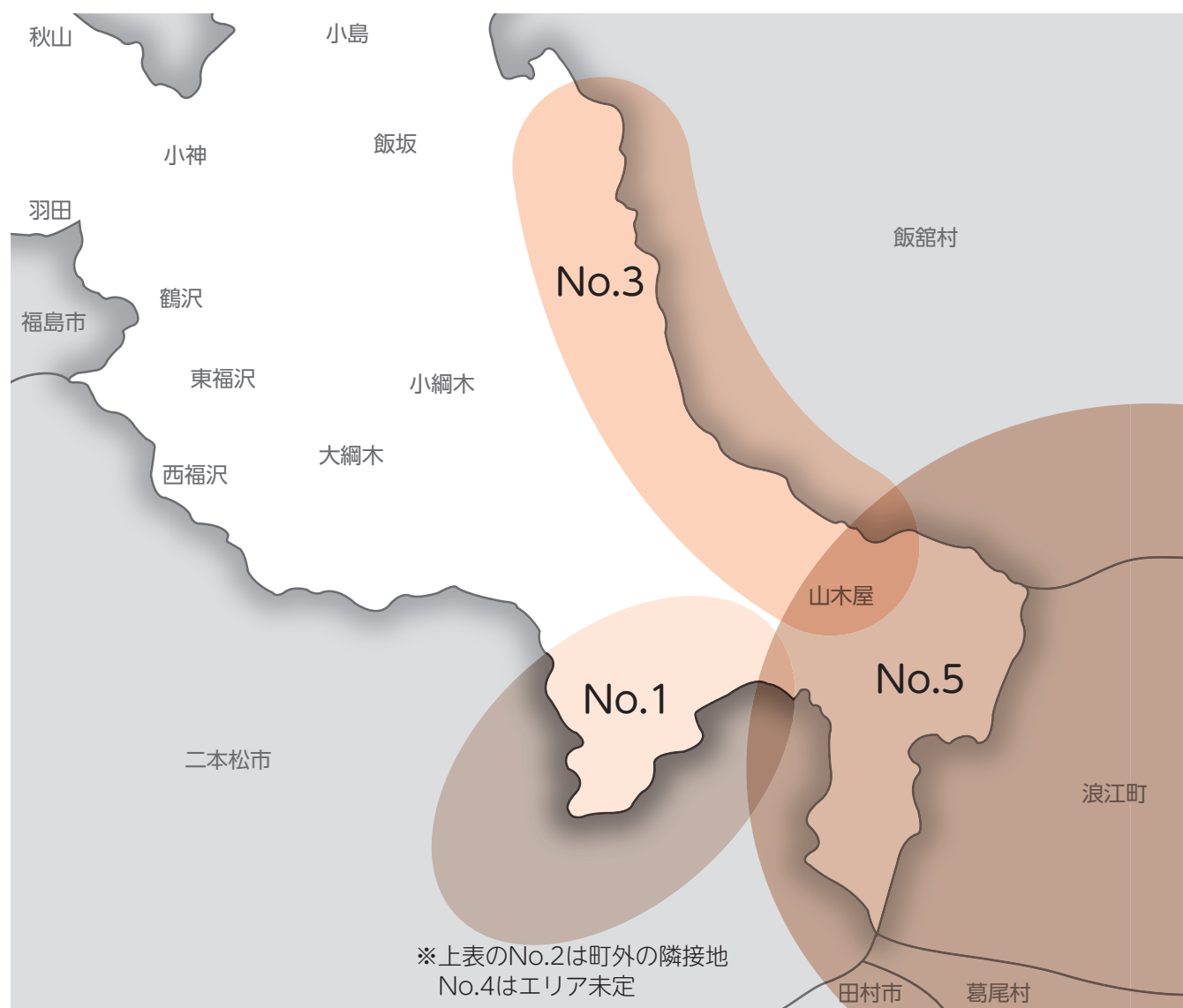
※飯坂地区住民からの苦情に対し、町が必要な措置を求め事業者が調査を実施中です。

川俣町を範囲とする風力発電事業

(※No.2は、山木屋地区に隣接)

No.	名 称 (仮 称) 事 業 者 (所在地)	設 置 地 区	最大発電量 設 置 基 数	経過 ※下部に詳細 発電開始予定
1	麓山風力発電事業 麓山風力合同会社 (福島市)	二本松市、川俣町 (山木屋地区)	75,600kw 18基	②方法書 2023年
2	中ノ森山風力発電事業 中ノ森山風力合同会社 (東京都港区)	浪江町、葛尾村 (※川俣町の一部が風車可視範囲)	48,000kw 15基	②方法書 2025年
3	笹峠風力発電事業 日立造船 (東京都品川区)	川俣町 (花塚山～山木屋地区)、 飯舘村	73,100kw 17基	②方法書 2025年
4	花塚山風力発電事業 ユーラスエナジーホールディングス (東京都港区)	川俣町 (花塚山)、飯舘村 ※エリア未定	40,000kw 未定	未。風況調査中 2027年
5	阿武隈北部風力発電事業 ふくねっと (福島市)	田村市、二本松市、葛尾村、飯舘村、 浪江町、川俣町 (山木屋地区)	400,000kw 95基	未 2026年

※環境アセスメントの流れ ①配慮書 → ②方法書 → ③準備書 →④評価書 →⑤報告書



まちの課題を問う

9月議会定例会の一般質問には9人の議員が登壇しました。



石 河 ル イ 議員

19

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 令和元年東日本台風からの復旧について
- 中丁商店街の道路、側溝の安全点検、清掃を



蓮 沼 洋 志 議員

20

- 運転免許返納者と歩行者にやさしいまちづくりを
- 豪雨災害への対策は
- これからの農業の展望は



村 上 源 吉 議員

21

- 防災対策について
- 中心市街地活性化について
- 工業団地に企業誘致を
- 来年2月の町長選挙について



高 橋 清 美 議員

22

- 町長の進退は
- 道の駅のリニューアルオープン後の状況は
- 福島イノベーション・コースト構想の進捗状況は



菅 野 信 一 議員

23

- 風水害時の避難対策について
- 防災行政無線の運用について
- イノシシ被害対策について



菅 野 清 一 議員

24

- 山木屋地区のモニタリングポストの撤去は適正か
- 町民に大きな影響を及ぼす風力発電事業計画の実態は



山 家 恵 子 議員

25

- 平和学習への取り組みとG I G Aスクールについて
- 高齢者の安心安全な見守りについて



新 関 善 三 議員

26

- コロナ対策と対応について
- 災害復旧の進捗状況と見通しについて
- 2020年産米の検査体制について



作 田 善 輝 議員

27

- 新型コロナウイルス感染症について
- コロナ禍における小中学校等の学習環境について
- 持続可能な開発目標（SDGs）に対する町の考え、対応について

質問席

一

般

質

問

新型コロナウイルス感染症対策を

計画に基づき対応していきます

質問

①感染拡大防止策は。
②国保加入者に支援の通知を。資格証明書の方が感染疑いの場合。

③町内企業、労働者への今後の支援方針は。

④コロナ禍でも安心して暮らせるまちづくりをアピールして人口減少に取り組むべきと考える。

町長

①感染症に対応するため、の行動計画を定めており、これに基づき対応、対策していきます。

②国保加入者で生活困窮の方には「資格証明書」を交付しており、診療等が受けられるようになっています。感染症の影響で事業収入が減少した場合の国保税の減免について、引き続き周知を図ってまいります。

③町内延べ91社に聞き取り調査を行いながら、国県と連携しながら事業維持等給付金等の支援を行ってまいりました。今後、事業規模、業種等に応じた様々な支援を行ってまいります。

④地方創生の計画の中で、交流人口の拡大、移住・定住の推進、情報発信力の強化に取り組みを進めました。今後は、情報通信技術などを活用したまちづくりなどを検討してまいります。



いし かわ

石河ルイ 議員

台風19号からの復旧について

県と協議し進めます

質問

①国道349号復旧の見通しは。

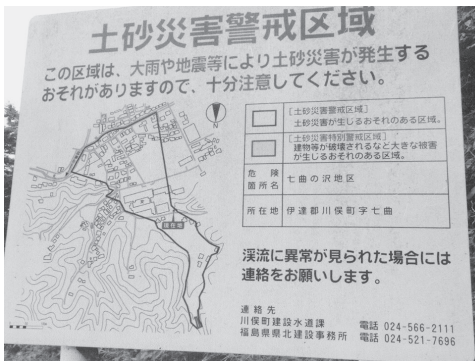
②広瀬川の改良復旧の要望は実現されるのか。

③文教施設等の被害の検証と安全対策を。

町長

①既に県で発注し、9月末から10月ごろにかけて着工になります。原形復旧で行われます。

②岩阿久橋付近から下流620mの川幅を拡げる工事が予定されています。内容については、



川俣小学校付近「土砂災害警戒区域」の表示看板

②側溝清掃を行う考えはあるのか。
町長 ①月2回の道路パトロール、補修作業等により把握と対応を行っています。お質しの箇所についても、早急に対応を図ります。
②今年度の側溝清掃は、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止いたしました、今後も継続して実施する考えです。

中丁商店街道路等の安全確保を

早急に対応します

質問 ①商店街の道路、側溝の破損箇所は把握しているのか。

引き続き要望してまいります。
③川俣小学校ほか6箇所が台風被害が発生しました。川俣小学校については、裏側の山林から泥水が流入しましたので、学校統廃合・校舎改修に合わせた対策を検討します。そのほか、杭柵の設置や、施設の統合新設等により対応します。



思いやりとゆとりの安全運転を

質問

①運転免許返納者に対するタクシー券助成事業は、いつから、いくら発行するのか。
②「歩行者の安全対策に取り組む」と6月議会で答弁があった

安全・安心な交通施策を 啓発活動等に努めます



はす めま ひろ し

蓮 沼 洋 志 議員

が、今後の予定は。交通安全対策協議会が開催できず、対応は遅れていないのか。
町長 ①本年4月1日以降に運転免許証を自主返納された満65歳以上の方に、町が運営するデマンド型乗合タクシー利用券、50回分2万6千円分を1回限り交付します。10月1日から開始します。
②歩行者の事故防止のためには、まずドライバーの法令順守が必要不可欠ですので、県警川俣分庁舎等関係機関と啓発活動等の実施を検討しています。交通安全対策協議会は新型コロナウイルスの影響のため開催できませんでしたが、交通安全運動期間中は、街頭指導や広報活動を行ってきたところです。

豪雨災害への 対策は

対応対策に努めます

質問

①昨年の台風被害から、いまだ復旧していない道路、河川が多い中、さらなる豪雨被害等の発生時にはどう対応するのか。
②避難所の感染症対策は万全か。
③大規模災害発生時のボランティアの受け入れ体制は。

町長

①災害そのものの発生を防ぐ手立てはありませんので、早期復旧に努めながら対応していきます。
②避難所等に消毒液等を備えるほか、知人や親戚宅に避難する「マイ避難」、介護が必要な方には福祉避難所に誘導する、また健康状態に応じて医療機関との連携を図るなど、避難時における感染症対策に努めていきます。
③大規模災害発生時のボランティアの受け入れは、川俣町社会福祉協議会で行います。今後とも社会福祉協議会と相談・協議を行い、感染症対策を講じながらボランティアセンターを設置していきます。

これからの 農業の展望は 各施策連携し取り組みます

質問

少子高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念されるが、農業活性化のビジョンはあるのか。

町長

地域との話し合いにより作成した「人・農地プラン」に基づき、農地の集約化、水路の維持、草刈り作業等を実施しながら、後継者の育成、新規就農者の確保、鳥獣被害防止などの施策と併せながら実施していきます。



町道長大田・ブシ沢線（駒ザクラ）付近

まちの課題を問う

防災対策について

基準を設けて対応します

質問

①警戒、避難指示等はどのレベルで行うのか。
②避難所開設はどのレベルで行うのか。
③防災無線の活用基準はあるのか。
④昨年の災害復旧状況を確認しているのか。

町長

①平成27年3月に策定したマニュアルに基づき避難指示等を発令してきましたが、平成31年3月に国から新たな基準が示されたことから、見直してまいります。
②必要に応じて発令しています。
③本年4月1日に放送に関する基準を定めて運用しています。
④関係各課で復旧状況を確認しながら対応しています。

中心市街地活性化について

ソフト事業を検討します

質問

①空き地、空き家の一元管理の効果はあったのか。
②町なか回遊空間整備は進んだのか。
③重点的な資金投入が必要と思うか。

町長

①空家等バンクの運用を開始し、登録物件は16件、成約件数は2件となっています。中心市街地では空き店舗兼住宅が多く、バンクへの登録が進まない要因となっていることから支援策を検討します。
②計画に基づき、中丁、川原田新中町、中道地内の道路等を整備中です。
③自動車社会では、郊外の大規模店舗に消費者が集中する傾向に

ありますので、中心市街地の地域コミュニティを活かせるよう、ソフト事業を中心に検討していきます。

工業団地に

企業誘致を

ブランド力向上を図って進めます

質問

数社交渉中とされているが、進んでいるのか。

町長

西部工業団地に、建材を扱う企業3社、輸送機器製造関連企業1社など、6社から問い合わせがありました。現在は昨年9月にミツフジ株式会社が発表した「福島イノベーション・ヴィレッジ構想」を受けて、町と町内企業のブランド力向上に資する業種を中心に、誘致を進めているところです。

来年2月の

町長選挙について

任期中の仕事に専念します

質問

再出馬するのか。

町長

東日本大震災からの復興、令和2年東日本台風からの復旧、新型コロナウイルス感染症対策など、諸課題の解決、対応に全力を尽くす必要がありますので、半年後のことをまだいえる段階ではありません。



歩道整備途中の瓦町地内



むら かみ げん きち

村上源吉 議員



進退について明言を避けた佐藤町長

質問

来年2月に予定されている町長選挙には、立候補する考えはあるのか。

佐藤町長は、平成29年2月に見事当選され、これまで3年6カ月、町政発展のため「情熱を

町長の進退は

明言する時期ではありません

持つて誠心誠意」努められてきたと思っておりますが、選挙公約でもある7点について、達成するため立候補するのかどうか伺う。

町長

選挙公約である①子育て支援策の強化、②医療介護福祉施策の充実、③健康長寿対策の推進、④未来を担う人づくり、⑤復興政策の拡充と強化、⑥農工商工業の持続的振興対策、⑦観光と交流人口増加への取り組みの七つの政策の実現を目指してきましたが、復興、人口減少、災害復旧、新型コロナウイルス感染症などの課題が山積しており、今は、町政運営に全力を尽くしている最中です。自分の進退を明言する時期ではありませんのでご理解願います。



たか はし きよ み

高橋清美 議員

質問

町での取り組みはどうなっているのか伺う。

福島イノベーションコースト構想の進捗状況は
アンスリウム栽培など
実施中です

町長

イノベーションコースト構想は、東日本大震災からの復興と新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトで、本町では、アンスリウム栽培に使うポリエステル培地と環境制御システム、ミツフジ株式会社の着衣型の情報端末実証プロジェクト、オール近大「川俣町復興支援プロジェクト」による商品・メニューの開発などの事業が挙げられます。

質問

①リニューアルオープン後の各施設の来場者の状況は。

町長

①表のとおりとなっております。朝ドラ「エール」に合わせたイベントや飲食スペースの増築による効果が表れています。

②今後も展示内容の見直しや利便性が向上するような取り組みを継続します。

道の駅のリニューアルオープン後の状況は
効果が出ており、
継続します

道の駅の改修による比較（同年7月比）

施設	元 年	2 年	増 減
織物展示館・からりこ館			
入 場 者	385	1,770	359.7%
シルクピア			
入 場 者	11,391	18,585	63.2%
売上(千円)	4,836	10,165	110.2%
愛 菜 館			
入 場 者	5,901	7,206	22.1%
売上(千円)	6,152	7,609	23.7%

まちの課題を問う



かん の しん いち

菅野信一 議員

風水害時の避難対策は

避難勧告基準を策定します

質問

①風水害時の避難計画は策定されているか。

②避難勧告時の発令基準はどうか。

町長

①地域防災計画の中で災害発生時に安全かつ迅速な避難誘導ができるよう、避難計画を策定することとされておりませんが策定には至っておりません。今後検討してまいります。

②平成31年3月に国から「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、町では未策定ですので、年度内に策定いたします。



10月17日、小綱木地区で行われた防災訓練

防災行政無線の運用は

きめ細やかに対応します

質問

①難聴世帯の実態調査は行うのか。

②難聴世帯に配る戸別受信機が足りなくなった場合はどうするのか。

町長

①②設計の段階で可聴範囲を設定していましたが、「聞こえない」という町の方の申出に沿って、現地に赴くなどして対応してきました。行政区や自治会からの情報なども含め聞き取りを行うほか、補正予算で戸別受信機の台数を増やすなど、可能な限り、きめ細やかな対応に努めてまいります。

イノシシ被害対策の効果は

年間900頭を捕獲しています

質問

①イノシシ被害の実態及び対策の成果は。

②被害分布図、生息分布図は作成されたのか。

③狩猟免許取得者増加に向けた対応は。

町長

①直近5年間の被害報告は概ね150件程度で、令和元年度は51件でした。本年度の被害報告もこれまで18件で、減少傾向にあるように思われます。

す。捕獲頭数は、平均900頭ですが、個体数が増えていること、わなによる捕獲が効果を上げていることによるものと思われます。

②図面としては作成しておりませんが、山間地だけでなく、住宅街ほか、町内全域に被害が広がっています。

③鳥獣被害の相談の場合に、個別に有害捕獲の説明や狩猟免許取得の案内をしているほか、定期的に狩猟免許取得の講習会の案内等を広報誌に掲載し、周知しています。



1年ぶりに再設置されたモニタリングポスト

質問 ①国道114号改修工事を理由に山木屋地区のモニタリングポストを撤去したのはいつか。
②撤去期間の数値空白はどのような扱いになるのか。
③法的に問題はないのか。
④いつ再設置されるのか。

町長 ①国道工事のため、水境地内と行合道地内から令和元年9月28日に、大沢山地内から令和元年12月12日に、計3基を一時撤去しています。
②一時撤去後、欠測という扱いになります。本年8月からは毎週金曜日に、撤去箇所のモニタリングを職員が行っています。
③法律に抵触するものではありませんが、1年余りにわたって撤去された状態であることは、適切ではないと考えます。住民の皆様にお詫び申し上げ、早急に再設置を進めてまいります。
④10月中には再設置の予定です。

早急に再設置を進めます

なぜモニタリングポストを撤去したままなのか



かん の きよ かず

菅野清一 議員

風力発電事業
計画の実態は

町民の安全安心に
配慮します

質問

町に大きな影響を及ぼす風力発電について問う。
①いいたてまでいな発電会社と協定書は締結したのか。
②これまで説明があった4社の風力発電事業計画の進捗は。
③今回、新たに提示された阿武隈北部風力発電事業の概要は。
④町民の安全安心のため、一度立ち止まって考えるべきではないのか。

町長

①（※協定書の詳細は、16ページをご覧ください）。
現時点では、内容を調整しているところで、速やかに締結できるよう進めてまいります。
②（※詳細は、17ページをご覧ください）。
③事業主体は、「ふくねっと合同会社」であり、事業予定地は、田村市、二本松市、葛尾村、飯舘村、浪江町、



町に隣接する飯舘村に建てられた直径103メートルの巨大風車

川俣町山木屋地区にまたがり、2026年2月以降の運転開始を想定し、3千キロワットから5千キロワットクラスの風力発電機を最大で95基見込んでいるとのこと。
④再エネについて理解を深めながら、しかし、最大限の判断の基準は、町民の安心・安全であることを明言します。

まちの課題を問う

新たな時代の教育環境整備は

順次検討し整備します

質問

①国際平和の夢を託された「青い目の人形」を通して、平和の心を伝える学習機会を設けてはどうか。



川俣小学校に保存されている青い目の人形

②※1 GIGAスクール構想の進捗状況は。

③※2 地域未来構想20オープンラボの有効活用策はあるか。

教育長

①19世紀初頭に、友好と平和を願って日本に

送られた青い目の人形が、川俣小学校に「ドロシー・ダウニング」の名前で現存しています。川俣小学校では、生活学習の時間や全校集会等で学びの機会を設けておりますが、今後さらに各学校での活用を図ってまいります。②現在、活用事例の説明をしながら端末購入の準備作業と、学校におけるネットワーク環境の設計段階で、来年1月までに川俣小学校と川俣中学校で通信ネットワーク環境を整備する予定です。



やま が けい こ

山家恵子 議員

③新型コロナウイルス感染症対策に活用できる交付金を設け、きめ細やかな政策が展開できるよう、20の政策分野を設けて検討を支援しています。必要に応じて、活用を検討しています。

高齢者の安全な暮らしを守る取り組みを

検討し対応します

質問

①一人暮らし高齢者、老世帯の見守りを支える

町の取り組みと今後の課題は。

②高齢者の安心な生活を支えるために、救急医療情報キットの利用と、周知徹底を図るべきではないのか。

③誰もが安心して住み続けられるまちづくりのために、高齢者世帯へのごみ出しと安否確認する事業を町でも取り組むべきではないのか。

町長

①JIA、福島医療生協と見守り活動の協定を締結しているほか、社会福祉協議会によるサロン活動の支援と地域支えあい活動、一人暮らしの方への緊急通報システムなどを実

※1

「ひとり1台端末」環境を整備し、情報通信学習を進める構想。

※2

新生活に対応する政策実現のため、地方自治体と専門家、関係官庁をつなげる取り組み。

施しています。

②救急医療情報キットは、健康状態や既往症、服薬などの情報をカプセルに入れ、万が一のときに備えるもので、平成24年から民生委員を通じて一人暮らしの高齢者に配布しています。再度、有効な見守りツールとして検討し、配布と周知を図ってまいります。

③訪問介護サービスの中で利用できるよう、指定時間外でもごみを出せるごみステーションの設置を検討してまいります。



救急医療情報キット



スタンプラリーの起点となっているシルクピア

質問
①資金繰り支援、事業維持給付金、雇用維持補助金の取り組みの実態は。

コロナ経済対策等について 代替イベント等を実施します



にい ぜき ぜん ぞう

新 関 善 三 議員

②外食やイベントの自粛が広がり、経済が停滞したがその対策は。

③スタンプラリー来場者数と今後の取り組み対策について

町長

①資金繰り支援9件約499万円、事業維持等給付金143件4310万円、雇用維持補助金22件580万円の交付を行っています。
②自粛により中止になったイベントの代替として道の駅での催しや体験、町内飲食店での食歩きなど、本町をまるごと体験していただく「かわまたまるごとウォーク2020」を予定しています。また、町内店舗における消費喚起策として「古閑裕而ゆかりの地かわまたプレミアム商品券」を販売しています。

災害復旧の進捗は 順次進めてまいります

質問

①国道、県道の状況は。

②町道の迂回路で対応している箇所の見通しは。

③側溝が詰まり、排水の悪い箇所の整備と対応は。

町長

①国道の、町内における災害復旧箇所は53箇所、国道114号は9月中旬に工事発注予定、349号は発注済みで着工が9月末から10月頃の予定、県道月舘川俣線も発注済みで、着工時期は9月末頃の予定です。
②町道で通行止めとなり迂回路等で対応している箇所は11箇所、工事実施中が5箇所、県工事と合わせて施工するのが2箇所、未発注が4箇所ですが、順次工事発注していきます。
③河川の越水する場合と、側溝から水があふれて越水する場合が考えられますが、河川改修を行うことで解消されるものと考えます。田代川、三百川、広瀬川等、県管理の河川であることから早期に改修されるよう引き続き要望を行ってまいります。



ようやく改修工事の始まった国道349号

③古閑裕而スタンプラリーの参加者数については、県内から645人、町内56人、県外226人で、遠くは北海道、佐賀県からも参加がありますが、宮城県82人、栃木県25人、茨城県20人となっております。

NHK朝ドラ「エール」が新型コロナウイルスの影響で一時中断となり、9月から再開されましたが、放送終了時期が現在未定ですので、可能な限りスタンプラリーの実施時期も合わせて延長する方針です。

まちの課題を問う



さく た よし てる

作田善輝 議員

新型コロナ発生時の想定は

誹謗中傷の抑止に努めます

質問

価は。

①これまでの町の取り組みの実績、現状分析、評価は。
②町内で感染者が出たときの対応は。県や保健所との連携は。
③都市と地方で感染状況に差がある中、経済活動、自治会活動のあり方をどう考えるか。

町長

①現在まで、町での感染者は発生していませんが、全国、県内では増加傾向にあります。

②発生時には県が記者会見を行うほか、町でも場合によって記者会見を行い、感染拡大防止と誹謗中傷をすることがないようメッセージを発信します。

③現時点では、新しい生活様式と経済活動を両立する対応が求められています。自治会活動に

おいても、再開していただけるよう周知していきます。

※SDGsに対する町の考え、対応について

理解・気運の醸成に努めます

質問

①町の取り組みは。
②役場、地域や企業等と連携状況と今後の取り組みは。

コロナ禍の学習環境について

バランスの取れた教育に努めます

質問

は。

①GIGAスクール事業の進捗状況と今後の対応は。
②学習環境に関する課題、対応は。学校行事、研修などの対応は。

町長

①持続可能で多様性のある社会を実現するための目標として掲げられた17のゴールを、町の地方創生の計画に反映し、今後具体的に整理していく考えです。

②SDGsに対する理解や気運の醸成が大切ですので、学び、考える機会の創出に向けた取組を進めます。

※エス・ディ・ジーズ。

国連で採択された2030年までに、よりよい国際社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの17のゴール（目標）

教育長

①教員向けの講習会や、県北管内での調整などの調査研究を行い、責任を持つてICT活用 of 学びの機会を保障してまいります。

②東日本大震災の教訓として、子どもの肥満、体力低下がありました。この経験を生かし、智・徳・体のバランスなくして教育はない、という考えで、コロナ禍の教育を支援してまいります。

町民の声

私のひと言



頑張っている 学生にエールを

字賤ノ田
齋藤志津子 さん

今年に入り、今までに経験したことのない新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、本当に恐怖を感じています。不安な毎日を過ごしている中、国民一人一人に一律10万円の給付金が配られることになり、川俣町はいち早く支給され本当に助かりました。また、町から一人ひとりにマスクが配布され、ありがたかったです。

我が家の息子は、現在大学生で、東京で一人暮らしをしています。このコロナ禍でバイトができなくなり、学費が払えないなど、生活が困難になっている学生が多くいると耳にすると、同じ学生を持つ親として心が痛いです。そんな中、ニュースで県外で暮らす学生に、地元の特産品を送りふるさとを思いだして少しでも元気になってもらう取り組みをしている地域があると知りました。川俣町から県外で一人暮らしをして頑張っている学生に少しでも元気になってもらい、勉学に励んでもらえる、そのような支援があるととてもうれしいです。一日も早く、安全安心で生活できる日々に戻ることを願うばかりです。

ポストコロナ時代の議会とは 町村議会議員研修会



元総務大臣の片山善博氏

10月8日、ユラックス熱海で開催され、議員全員で参加しました。元総務大臣で早稲田大学大学院教授の片山善博氏から、コロナ禍における地方議会の取り組みについての講演がありました。

感染症対策のためとして一般質問を自粛したり、議案を審議せずに専決で通したりする議会や、学力低下のリスクを審議することなく休校措置をとる教育行政の事例があり、今こそ、地方自治の存在が問われていると言います。住民意思を決定する機関として、難しい問題だからこそ、決めることに存在価値がある、というお話しでした。



三密を避け設けられた会場

編集後記

世界中で蔓延している新型コロナウイルス感染症は、国内では地域により感染状況に差が出ている状況です。感染症対策として三密を避け、新しい生活様式を徹底することが求められています。

こうした中、川俣町では様々な行事や事業が自粛により中止されてきましたが、今後はコロナ後を見据えた対応が求められるのではないのでしょうか。これまで、国の方針や施策に沿って進められてきたものを地域の実情に合わせて、対応をする時期に来ていると考えます。

中央政府である国に対し、県や市町村は「地方政府」と言われます。政府とは、住民の生活向上に向けた施策や事業を実施する機関のほずです。コロナ禍における地域の活性化に向けて、国の施策等を見据えながらも、地域住民の意向に沿い、目標実現に向けて自立した取り組みをすることが大切だと考えます。

(作田善輝議員)

◇広報編集常任委員会

委員長 高橋道也
副委員長 菅野清一
委員 佐藤喜三郎
委員 山田善子